

福島ユニットセンター

実施体制

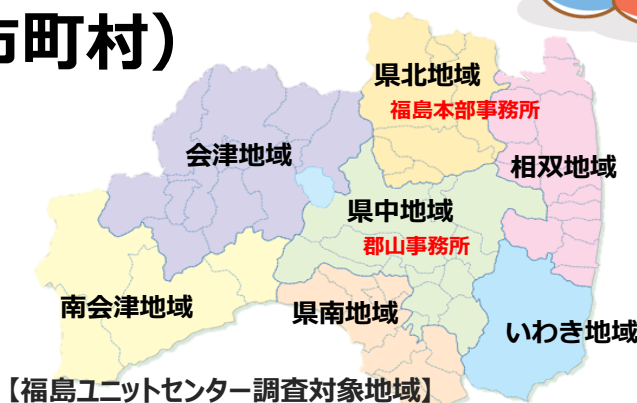
現参加者数（子ども）：11,931人（令和5年11月25日時点）
調査対象地域：福島県内全域（59市町村）

参加者さんとの“顔の見える関係づくり”をモットーに、子どもの成長にあわせた各種イベントの開催やニュースレターの発行、質問票の集計結果をまとめたリーフレットの作成などを行い、参加者さんのご家族とともに、子どもの成長を見守っていく調査を目指している。今年度からは、小学6年を対象とした学童期検査と小学4年を対象とした詳細調査が開始され、お子さんの成長を見守りながら、より深いコミュニケーションの機会とできるよう、取り組んでいる。

また、県・市町村、保健・保育・教育関連機関、医師会、協力医療機関等からなる約200名へ地域運営協議会の委員を委嘱し、県内全域で調査を行っている。

エコチル★ふくしまのマスコットキャラクター「こぼちる」

福島の民芸品「おきあがりこぼし」の「こぼ」と「チルドレン」の「ちる」から名前がつけられました！



参加者とのコミュニケーション活動

1 イベントの開催・参加

参加者とのコミュニケーションとエコチル調査の理解増進のため、参加者の成長に合わせたイベントを開催するとともに、各種イベントにも積極的に参加している。

参加者対象のイベントの開催時には、調査の意義や成果について、資料を用いてセンター長が講師となって説明するとともに、県民対象のイベントの際は、パネルを用いてエコチル調査のPRを行っている。

全県イベント(8月)

参加者及び県民を対象に、参加者のモチベーション向上と県民へのエコチル調査の周知を目的として実施
アクアマリンふくしまで、センター長による調査成果の説明と「海の生き物とふれあい」をテーマにした体験学習を行った

環境セミナー(2月)

環境について関心を高め、参加意欲の維持向上を目的として実施
コミュニティ福島で「SDGs」をテーマに開催した

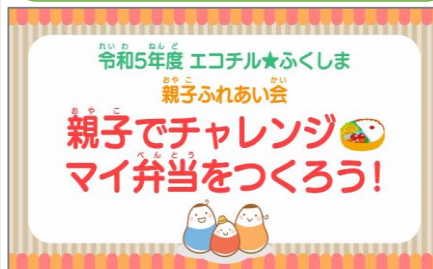


令和5年度実績



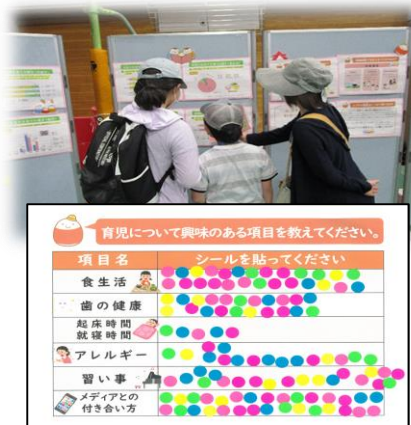
ふれあい会(7~8月)

親子でのふれあいの時間を提供し、エコチル調査と双方向での交流を深め、協力継続を目的として実施
「親子でマイ弁当をつくろう」をテーマに開催し、お弁当画像をHP等で紹介した



イベントへの参加(5月)

郡山市こどもまつりで、エコチル調査に関する展示とクイズ、育児アンケートを行った



2 ニュースレター（エコチル★ふくしま通信）の発行

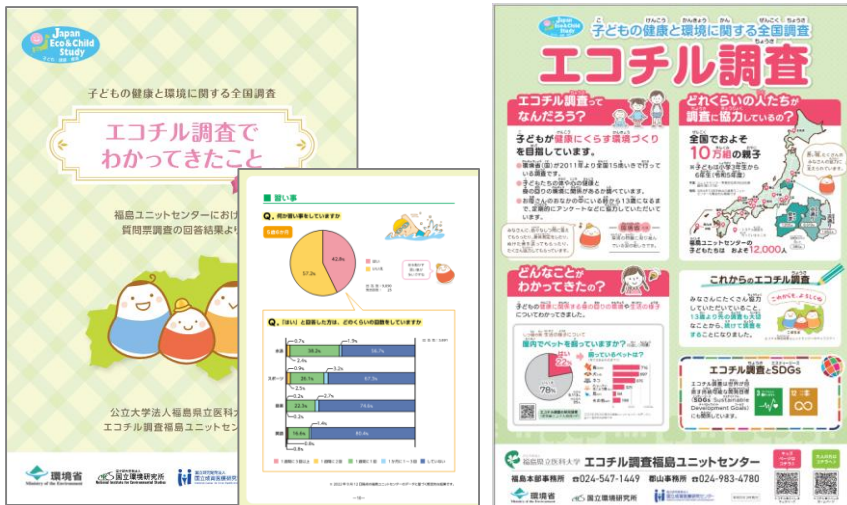
参加者や地域運営協議会委員、小学校等に年3回発行している。調査の進捗状況、お知らせ、イベント実施報告、子育て情報（小児科医師による「おしえて先生！あんなこと、こんなこと」）などを掲載している。



掲載内容「子ども向け紙面（遊んで！学んで！エコチル★キッズ！）」

3 リーフレット「エコチル調査でわかってきたこと」PRポスターの配布

福島ユニットセンターの参加者質問票（妊娠中から7歳まで）の子育てに関する約30項目を集計したリーフレットを参加者や地域運営協議会委員、小学校に配布している。また、PRポスターを小学校等に配布した。



エコチル調査でわかってきたことvol.2
(令和4年度)

PRポスター（令和5年度）